



平成 2 7 年度

事業実績報告書



社会福祉法人 秀 峯 会

介護老人福祉施設つばきの里
通所介護事業所つばきの里
居宅介護支援事業所つばきの里

〒857-4511

長崎県南松浦郡新上五島町浦桑郷 1 0 0 8 番地 5

TEL0959-54-2411 FAX0959-54-2412

I	介護老人福祉施設つばきの里の経営	1
1.	介護老人福祉施設	1
2.	短期入所生活介護	3
3.	行事实施内容	4
4.	職員研修	5
4.1	施設外研修	5
4.2	施設内研修	6
II	通所介護事業所つばきの里の経営	7
1.	通所介護	7
1.1	基本方針	7
1.2	サービス内容	7
1.3	事業実施内容	7
1.4	日課表	7
1.5	利用者状況	8
2.	生きがい対応型	9
1.1	基本方針	9
1.2	サービス内容	9
1.3	利用者状況	9
1.4	行事实施内容	10
III	居宅介護支援事業所つばきの里の経営	11
1.	要介護度別利用状況	12
2.	給付管理票の提出状況	12
IV	介護報酬の状況	13
V	事故、ヒヤリハット発生状況	14
1.	事故発生状況	15
2.	ヒヤリハット報告状況	15

I 介護老人福祉施設つばきの里の経営

1. 介護老人福祉施設

稼働率は 93.2%。

入院による空床(3.5%)、外泊(0.1%)、退所・入所調整(3.1%)

表1 月別入退所者数の状況

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数
		入所	退所	
平成27年4月	29	1	0	814
5月	30	0	1	872
6月	29	1	1	821
7月	29	0	0	879
8月	29	1	1	893
9月	29	1	0	876
10月	30	0	0	921
11月	30	1	2	864
12月	29	0	2	806
平成28年1月	27	3	1	830
2月	29	1	1	793
3月	29	1	1	870

表2 地区別入所者の状況 (平成28年3月31日現在)

地区	男性	女性	男女合計	分布率(%)
新魚目	3	11	14	48.4
上五島	1	3	4	13.8
有川	1	6	7	24.1
奈良尾	0	1	1	3.4
若松	0	1	1	3.4
※住所地特例	0	2	2	6.9
合計	5	24	29	100

※入所直前に住民票記載された住所を有する市町村や広域連合が保険者となる制度。

表3 入所者の年齢分布及び入所期間(平成28年3月31日現在)

表3-別表

性別	最年長	最年少	平均年齢
男性	93歳 0ヶ月	78歳 7ヶ月	83歳 6ヶ月
女性	105歳 2ヶ月	78歳 0ヶ月	87歳 0ヶ月

全体平均年齢 86歳 4ヶ月

平均入所期間 3年 9ヶ月

最長利用期間 16年 7ヶ月

表4 要介護度別一覧
(平成28年3月31日現在)

要介護区分	男性	女性	合計	分布率 (%)
1	1	3	4	14
2	0	4	4	14
3	1	3	4	14
4	0	6	6	20
5	3	8	11	38
合計	4	25	29	100

平均介護度

【認知症自立度概略】

ランクⅠ 何らかの認知障害があるものの、日常生活はほぼ自立している。

ランクⅡ 日常生活に支障をきたすものの、誰かの支援があれば生活できる。

ランクⅢ 日常生活に支障をきたす症状が、昼間・夜間のどちらかに出現して介護が必要。

ランクⅣ ランクⅢの状態が24時間見受けられ、常時介護が必要。

ランクⅤ 専門医療を必要とする状態。または意思疎通ができない状態。

表4—2 認知症自立度別一覧
(平成28年3月31日現在)

認知症自立度	男性	女性	合計	分布率 (%)
自立	0	3	3	10
Ⅰ	0	1	1	3
Ⅱ	0	0	0	0
Ⅲ	1	5	6	20
Ⅳ	2	12	14	48
Ⅴ	1	4	5	19
合計	4	25	29	100

表5 低所得者減免制度利用者

	延べ人数	法人負担額 (1割負担分)	法人負担額 (食費)	法人負担額 (居住費)	負担額合計
施設サービス	0人	0円	0円	0円	0円
居宅サービス	0人	0円	0円	0円	0円
合計	0人	0円	0円	0円	0円

2. 短期入所生活介護

表5 短期入所月別利用者数の状況

	延べ日数					当該月 延べ人数
	介護保険	保険外	生活管理	合計	稼働率 (%)	
平成27年4月	328	3	0	331	104.3	28
5月	320	2	0	322	103.8	27
6月	338	4	0	342	114.0	22
7月	318	6	0	324	104.5	26
8月	288	3	0	291	93.8	27
9月	303	4	7	314	104.6	26
10月	292	3	0	295	95	26
11月	266	3	0	269	89.6	25
12月	337	4	0	341	110	25
平成28年1月	326	2	0	328	105.8	30
2月	306	5	0	311	111	29
3月	305	4	0	309	100	26
年度合計	3727	43	7	3777	103.5	317

表 5-2 介護度別短期入所生活介護利用者延べ日数

未認定	支援1	支援2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計
7	41	57	330	935	1580	616	211	3777

短期入所生活介護利用定員10名。利用者は「どこかの施設入所が決まるまで継続的に利用したい」という要望が増加している。表 5-2 の「未認定」とは、表5の「生活管理」と表記している利用形態で、新上五島町と契約している「短期入所生活管理指導事業」対象の方である。

3. 行事实施内容

表6 平成27年度年間行事实施表

月	計 画	実 施
4	花見 ショッピング	ドライブ・花見 つつじが丘文化祭
5	ふるさと訪問、消防避難訓練 運動会 ドライブ	魚目小学校運動会参加 運動会
6	ショッピング ホテル見物	日本丸見学 魚目小学校交流会 ホテル見物
7	七夕祭り 花火見物	消防避難訓練(日中想定) バーベキュー、七夕会 魚目中学校福祉体験学習
8	納涼祭 盆供養	納涼祭 つつじが丘納涼祭参加 つくしの里納涼祭参加
9	敬老会 ショッピング	敬老会 ドライブ
10	文化祭 ドライブ	上五島中学校福祉体験 つつじが丘運動会参加 魚目小学校交流会 入所者健康診断 魚目小学校学習発表会見学
11	ショッピング ふるさと訪問・消防避難訓練	文化祭 ドライブ、魚目小学校交流会 椿油作り
12	クリスマス会 餅つき	クリスマス会 餅つき(施設) 餅つき(危険物安全協会)
1	新年互礼会 書初め	新年互礼会、 書初め、初詣、鏡開き
2	節分(豆まき) 利用者懇談会	節分(豆まき)
3	彼岸法要 ひなまつり	ひなまつり会 消防避難訓練(夜間想定)

4. 職員研修

4.1 施設外研修

表7 職員の研修実施状況

人数	職種	実施日	場所	内容
1	看護師	4/19	福岡市	ナースの為の褥瘡ケア
2	生活相談員 介護職	4/28・6/18・8/28 10/27~28・12/17・2/25	長崎市	介護力向上講習会
1	生活相談員	6/6~7・6/20~21 7/10~12	宇部市	実務者研修教員講習会
1	施設長	6/20~23 2/20~23	神奈川県	福祉施設長専門講座スクーリング*
1	介護職	7/7~8	長崎市	長崎県身体拘束廃止推進員養成研修
4	介護職	8/22	新上五島町	上五島地区認知症研修会
2	生活相談員 介護職	10/30	新上五島町	離島地区フォローアップ研修会
3	生活相談員 看護師 介護職	11/24	五島市	介護関係者スキルアップ研修会 看取りケアと包括ケアシステムについて
2	生活相談員 看護師	1/16	福岡市	和田行男のこれからの認知症ケアの関わり方
2	介護職	2/8~9	長崎市	九州ブロックカンントリーミーティング
2	介護職	2/12・13・21・3/6	新上五島町	介護職員等定着促進事業研修会
1	看護師	2/28	福岡市	医療従事者の為の褥瘡予防研修
1	施設長	3/3	長崎市	フロン排出抑止法説明会
1	生活相談員	3/5	佐世保市	日本介護支援専門員協会九州・沖縄ブロック研究大会
1	生活相談員	3/10	佐世保市	ソーシャルワーク実践力強化研修

4.2 施設内研修

表8 施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
27年4月16日	科学的介護の実践・・・常食について	21名
5月21日	科学的介護・・・常食への推移	16名
6月20日	科学的介護の実践・・・歩行	18名
7月28日	身体拘束「スピーチロック」について	20名
9月24日	身体拘束と高齢者虐待について	16名
10月14日	認知症の理解と対応	18名
11月20日	「介護の仕事」とは何かと問われたら ・・・死生観、人生観、道徳観、愛・・・	15名
28年1月21日	介護福祉士行動規範、ナイチンゲール誓詞、ヒポクラテスの誓に込められた思いを共有し、法人理念「三つの大きな幸せ」を実現するために必要なことは何かを考える。	25名
2月1日～3月2日	介護福祉士実技試験対策	延83名

Ⅱ 通所介護事業所つばきの里の経営

1. 通所介護

1.1 基本方針

利用者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持・向上などを図るとともに、その家族の身体的・精神的な負担の軽減を図る事を目的とし実施した。

1.2 サービスの内容

- ①利用日は毎週月曜日から土曜日までの週6日間
- ②利用定員は20名
- ③利用料は介護度に応じた一割の自己負担。食費は一食につき 390 円
- ④レクリエーション活動
- ⑤趣味活動(折り紙・習字・アンデルセン・将棋・囲碁・カラオケ・ストロー画・押し絵・木工・陶芸など)

1.3 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供。

- ①生活相談 老人の日課や心身についての相談
 - ②日常動作訓練 日常生活動作の基本的訓練
 - ③養護 相応しい環境での養護
 - ④健康チェック 血圧・体温等一般状態の観察と健康管理指導
 - ⑤送迎 車輛による送迎
 - ⑥入浴 準天然温泉システムによる一般浴、特殊浴を実施
 - ⑦食事 カロリー・栄養のバランスを計算した献立に基づいた温かい食事の提供
 - ⑧家族介護教室 要介護老人の介護方法等のアドバイス
- ※趣味活動 折り紙・習字・アンデルセン・将棋・囲碁・カラオケ・ストロー画・押し絵・木工・陶芸など

1.4 日課表

9:00	10:00	11:30	13:00	14:30	15:30	16:30
車輛にて迎え	体 操 レクリエーション 健康チェック ※リハビリ	昼食・休憩	入 浴	リハビリ 趣味活動 くつろぎ・おやつ		車輛にて送り

※リハビリには、理学療法士による月1回の指導、ホットパック・関節可動域訓練・マイクロ・マッサージを含む。

1. 5 利用者状況

表9、10に平成26年度、27年度要介護度別通所介護利用者数を示す。平成27年度の利用者数の変動状況としては、死亡4名、施設入所4名、計8名の減。

新規が5名で、利用延べ人数は26名の減となった。

表9 平成26年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援1	44	52	47	48	41	44	58	59	47	47	49	48	584
要支援2	48	47	46	48	39	48	25	16	32	23	32	31	435
要介護1	82	72	97	98	102	119	119	117	106	88	85	93	1178
2	103	114	96	85	89	97	108	104	117	108	98	103	1222
3	10	9	11	8	8	7	5	0	2	6	7	6	79
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	287	294	297	287	279	315	315	296	304	272	271	281	3498

表10 平成27年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援1	49	50	47	49	36	46	47	31	31	31	38	42	497
要支援2	29	27	38	36	25	31	19	27	26	17	20	21	316
要介護1	61	73	74	69	66	74	82	74	47	37	48	74	779
2	131	121	128	135	142	153	153	143	116	88	111	108	1529
3	25	20	20	19	18	19	22	19	17	27	28	32	266
4	0	0	0	2	15	12	16	17	0	0	11	11	84
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
合計	295	291	307	310	302	335	339	311	237	200	256	297	3480

表11 地区別通所介護利用登録者数

居住地 性別	男	女	合計
浦桑	3	12	15
榎津	1	5	6
丸尾	1	6	7
似首	0	6	6
有川	1	1	2
小串	0	2	2
曾根	1	0	1
青方	1	0	1
合計	8	32	40

	最高	最低	平均
男	91	79	85.6
女	103	76	88.9
全体平均年齢		88.2	

表 12 通所介護デイサービス月別利用者数の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数	26	26	26	27	25	26	27	26	26	24	24	27	310
利用者数	295	291	307	309	302	342	339	311	237	200	256	297	3486
一日平均	11.3	11.1	11.8	11.4	12	13.1	12.5	11.9	9.1	8.3	10.6	11	11.1

2. 生きがい型対応型デイサービス

2.1 基本方針

日常生活において、自立した生活が維持できるようレク活動やクラブ活動を通じて、要介護状態への進行を防止するとともに、機能訓練指導員の指導による機能訓練を実施し体力の維持向上を図った。

2.2 サービスの内容

- ①利用日は毎週月曜日から土曜日までの週6日間
- ②利用定員は 20 名(要介護、要支援者含む)
- ③利用料は 850 円
- ④レクリエーション活動
- ⑤趣味活動(折り紙・習字・アンデルセン・将棋・囲碁・カラオケ・ストロー画・押し絵・木工・陶芸など)

2.3 利用者状況

表13に年間利用者数を示す。平成27年度の利用者の変動状況としては、認定変更者0名であるが、延べ人数としては4名の減となっている。

表 13 生きがいデイ利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
23年度	35	32	43	34	44	27	37	41	29	33	25	33	413
24年度	31	37	29	32	28	31	39	34	18	25	31	32	367
25年度	28	34	34	38	24	26	35	30	24	23	19	21	336
26年度	26	24	22	30	18	25	31	25	26	27	26	25	305
27年度	31	25	27	28	19	26	26	26	27	21	22	24	302

表 15 生きがい対応型デイサービス地区別利用登録数

居住地・性別	男	女	合計
浦桑	0	5	5
榎津	0	0	0
丸尾	0	1	1
似首	0	1	1
有川	0	0	0
小串	0	0	0
立串	0	0	0
合計	0	7	7

	最高	最低	平均
男	0	0	0
女	93	82	88.7
全体平均年齢	88.7		

表 16 生きがい対応型月別サービス実施回数及び利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	26	26	26	27	25	26	27	26	26	24	24	27	310
利用者数	31	25	27	28	19	26	26	27	27	21	22	24	302
一日平均	1.1	0.9	1	1	0.7	1	0.9	1	1	0.8	0.8	0.9	0.9

2. 4 行事実施内容

	計 画	実 施
4月	花見、木目込み作成 タオル人形、凧制作	花見、木目込み作成 ちぎり絵
5月	ちぎり絵、菖蒲見学 施設運動会参加、避難訓練	木目込み作成 施設運動会参加
6月	バスハイク 木目込み作成	七夕作り、魚小交流会 バスハイク
7月	七夕作り 耐夏への心構え	七夕作り、七夕会 ちぎり絵、魚中福祉体験
8月	バスハイク、ペーパーフラワー ちぎり絵	木目込み作成、納涼祭 バスハイク
9月	敬老会、ストロー画 避難訓練	バスハイク、文化祭作品作り 子育て支援センター交流
10月	粘土細工、日帰り温泉 習字	文化祭作品作り、上中福祉体験 ちぎり絵、避難訓練、魚小交流会
11月	バスハイク、ツタ細工 施設文化祭へ参加 冬に向けての心構え	木目込み作成 施設文化祭へ参加 バスハイク
12月	忘年会、クリスマスツリー飾り作り クリスマス会	クリスマスツリー飾り作り 忘年会、クリスマス会、餅つき
1月	初詣、折り紙制作 タオル人形作り	折り紙製作
2月	豆まき、人形作り(毛糸) 貼り絵	節分(豆まき)、貼り絵 キャップ作品制作
3月	雛祭り	バスハイク キャップ作品制作

Ⅲ 居宅介護支援事業所つばきの里の経営

1. 要介護度別利用状況

登録者数は H27 年度 96 名。区分変更申請(介護予防よりの申請を含む)9 名、新規利用者 13 名、介護予防より要介護へ 6 名移行。施設入所 10 名、死亡 11 名の変動があった。

表 1 利用者の要介護度別認定者

	男	女	合計
要支援 1	2	6	8
要支援 2	0	6	6
要介護 1	3	22	25
要介護 2	7	12	19
要介護 3	8	10	18
要介護 4	2	5	7
要介護 5	1	3	4
合計	23	64	87

図 1 介護度別利用者数

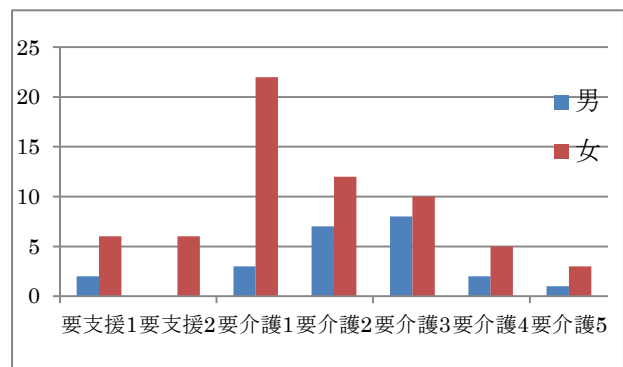
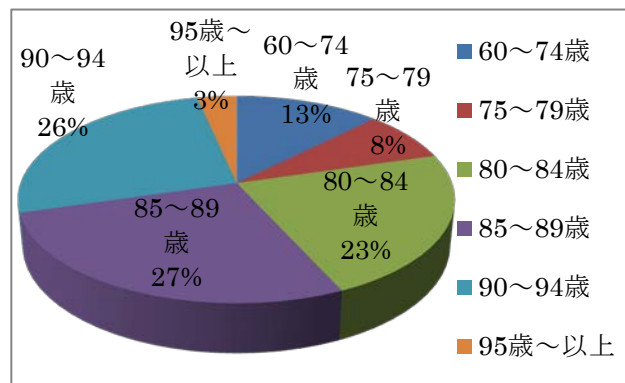


表 1. 図 1 には予防プラン委託者を含む

表 2. 年齢別利用者数

区分	男	女	計
60～74	6	5	11
75～79	3	4	7
80～84	3	16	20
85～89	4	20	24
90～94	7	16	23
95～	0	3	3
合計	23	64	87

図 2 年齢別利用者数



給付管理票の提出状況

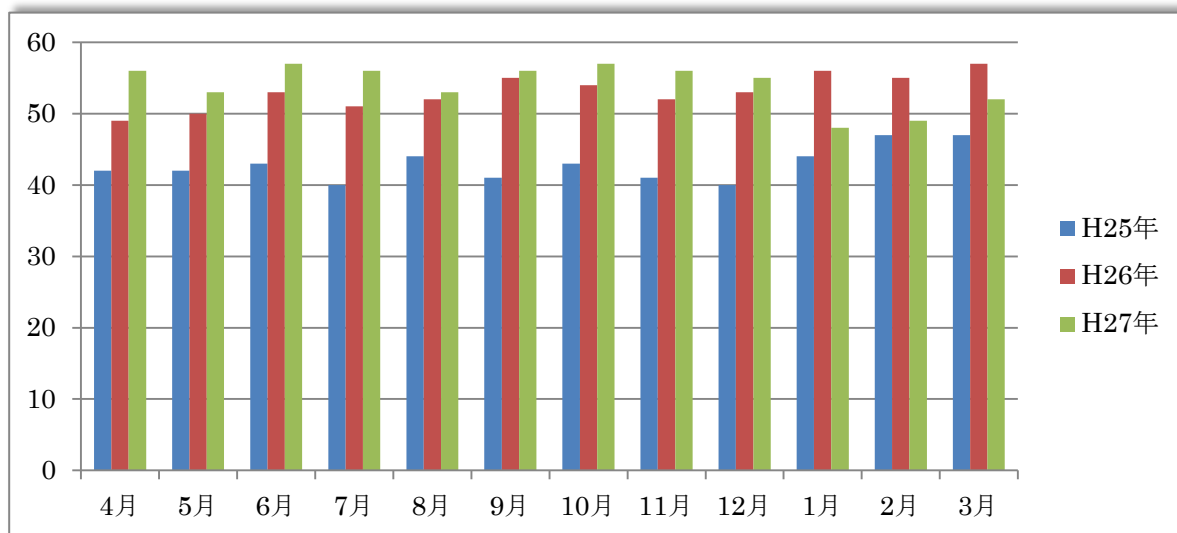
本年は予防から介護への移動があり給付管理票の提出件数は増加し、予防プランについては横ばいである。

表 3 給付管理票の提出状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
H16 年	50	49	51	53	53	52	52	54	53	51	52	53	623
H17 年	58	57	54	52	58	58	56	59	56	52	57	57	674
H18 年	57	58	55	50	49	45	41	38	40	32	35	33	533
H19 年	32	34	33	33	35	33	34	38	36	35	35	33	411
H20 年	35	37	37	39	36	37	38	37	40	38	34	35	443

H21年	39	35	37	38	41	41	41	34	36	36	35	38	451
H22年	37	42	40	40	41	42	40	38	38	36	36	37	467
H23年	36	35	37	36	36	37	40	38	38	39	34	35	441
H24年	38	38	36	36	38	38	38	38	37	34	35	38	444
H25年	42	42	43	40	44	41	43	41	40	44	47	47	514
H26年	49	50	53	51	52	55	54	52	53	56	56	57	637
H27年	56	53	57	56	53	56	57	56	55	48	49	52	648

図3 給付管理票の提出件数



<予防プラン作成数>

H27年度は新規0名、要支援から要介護者へ6名の移行があった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年	27	27	27	29	26	27	28	29	30	30	31	31	342
H24年	32	28	31	31	27	28	32	35	34	31	30	35	375
H25年	32	32	31	32	29	29	27	31	26	23	21	22	337
H26年	20	22	25	25	23	23	23	23	23	20	21	23	273
H27年	19	18	17	17	14	15	13	13	11	11	11	10	169

IV 介護報酬の状況

表21に、平成 27 年度における特別養護老人ホーム(入所事業・短期入所事業)デイサービスセンター、居宅介護支援事業所の収入状況を示す。

事業所全体の収入は 195,371 千円で前年度(190,270 千円)と比較して 5,101 千円の収入増となった。入所事業は稼働率が前年度 93.4%から今年度 93.3%と減少したが、平均介護度が、前年度 3.0 から 3.4となった為、2,410 千円増収、ショートステイにおいては利用者が延べ127人増の為 4,029 千円増収となった。デイサービス事業においては利用者が延べ通所介護で 188 人増、予防通所で 206 人減の為、1,144 千円減収となり、居宅支援事業においては 191 千円増収となった。

表 21 事業別収支状況

(単位・千円)

	特別養護老人ホーム			デイサービスセンター			居宅支援
	介護老人 福祉施設	短期入所 生活介護	合 計	通所介護	生きがい	合 計	
27 年	120,112	38,763	158,875	26,772	256	27,028	9,468
26 年	117,702	34,734	152,436	27,916	259	28,175	9,659
増減	2,410	4,029	6,439	△1,144	△3	△1,147	△191

(単位・千円)

	特別養護老人ホーム			デイサービスセンター			居宅支援
	介護老人 福祉施設	短期入所 生活介護	合 計	通所介護	生きがい	合 計	
25 年	118,995	40,923	159,918	28,443	285	28,728	8,271
24 年	127,440	33,597	161,037	32,691	311	33,002	7,510
23 年	130,296	35,692	165,988	31,540	349	31,889	7,443
22 年	125,850	42,051	167,901	32,872	418	33,290	7,643
21 年	135,968	34,608	170,576	33,886	449	34,335	7,789

V 事故、ヒヤリハット発生状況

1.事故発生状況

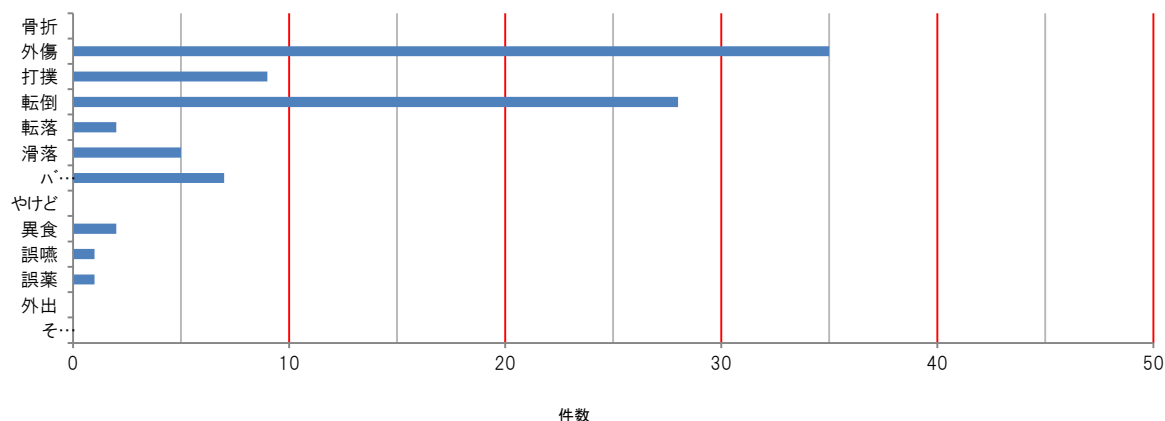
表22、図4に平成27年度中における事故発生件数を示す。27年度は90件の事故報告書が報告されています。事故の内容で多く発生したのが外傷35件、転倒28件、打撲9件となっており最も多い外傷の事故原因では、入浴介助や更衣介助の際、皮膚が極端に弱いご利用者が皮膚剥離する事故である。介助の方法の見直しや皮膚を保護するカバー等を使用して再発防止に努めており、収集した事故データを元に職員全体でケアカンファレンスを実施し多角的に分析して原因の究明や発生予防・拡大予防に必要な対策を検討・実施しています。

私たち職員の対応方法や事故発生に対しての対策がご利用者の生活及びご家族に影響を及ぼす事になります。サービス提供の正当性を果たしていく為にも情報を一元的に管理していく必要がある。

表22 事故報告件数（特養、ショート、デイ）

事故		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
骨折	介助中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
外傷	介助中	0	1	2	0	1	0	1	0	0	1	0	1	7	
	自力	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4	
	不明	3	1	2	3	2	1	1	2	2	2	3	2	24	
打撲	介助中	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
	自力	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4	
	不明	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3	
転倒	トイレ使用中	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	
	居室	1	2	2	0	1	1	0	0	1	2	2	1	13	
	車椅子からの立ち上がり	0	1	0	1	2	0	1	0	1	1	0	1	8	
	廊下・ホールがり	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	4	
転落	椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	車椅子	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0		2
	ベッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
滑落	椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	車椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ベッド	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0		5
経管、バルーン抜去	介助中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
	自力	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1		7
火傷	介助中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
異食	食べれない物を口に入れた	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
誤嚥	物を喉に詰らせた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
誤薬	誤った薬を服薬	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
外出	敷地外まで外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		7	7	10	8	9	6	6	6	6	10	8	7	90	

図4 事故発生状況



2. ヒヤリ・ハット報告状況

表23、図5にヒヤリ・ハット報告状況を示す。この報告書は事故には至らなかったが一歩間違えていけば、重大な局面を招いていかもしれない報告であり、事故を未然に防ぐ為に重要な役割を果たすものである。職員間で些細な事であっても報告書を提出し事故に対する意識改革を図ると共に、細かな気づきを情報として記憶また共有し今後の介護業務に役立てていきたい。

表23 ヒヤリ・ハット報告件数

	ヒヤリ・ハット	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
トラブル	利用者同士の暴力・暴言	5	2	6	4	3	3	5	1	3	2	3	3	40
	合計													40
転倒	転倒しそうになる	4	5	6	5	4	5	7	4	6	3	5	3	57
	転倒したが外傷なし	2	2	1	2	1	2	2	2	1	2	1	2	20
転落	転落しそうになる	1	2	2	1	0	2	1	1	0	2	3	2	17
	転落したが外傷なし	2	3	2	2	1	3	2	3	3	2	3	3	29
滑落	滑落しそうになる	3	4	2	3	3	2	3	3	2	3	4	3	35
	滑落したが外傷なし	3	3	4	2	3	3	2	3	2	2	3	3	33
危険行動	自立歩行困難者が歩行した	1	2	0	2	1	1	2	0	1	0	1	1	12
	〃 立ち上がろうとした	3	2	3	2	2	3	3	2	3	2	2	2	29
異食	害にならない物を口に吐き出した	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	4
	〃 口に入れようとした	1	1	0	3	2	0	1	0	0	1	1	0	10
誤配	薬を誤配し飲む前に気付いた	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
外出	敷地内外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
車事故	利用者乗車中の事故・外傷なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	お茶をこぼす・ぶつかりそう	4	5	4	6	5	4	5	5	6	7	6	5	62
合計		29	32	30	33	25	28	33	24	29	27	33	29	352

図5 ヒヤリ・ハット報告状況

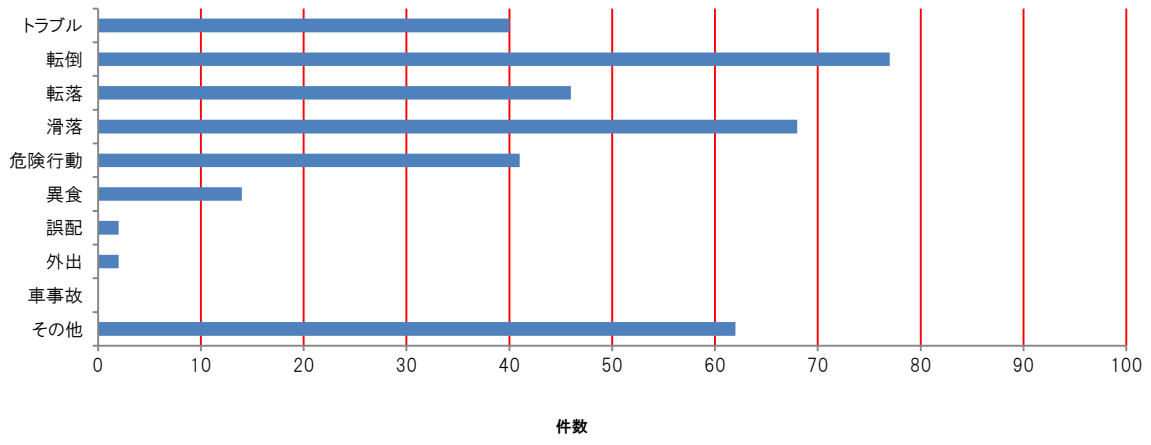


表24 つばきの里自衛消防隊組織表

自衛消防隊隊長 神之浦 剛史(防火管理者)
 副隊長 谷本 達也 (防災士)
 指揮係 坪井 哲哉

通報連絡係	消火係	避難誘導係	防護安全係	救護係	非常持出係
大谷保美	渡辺敏宏	大水幸広	岩坪俊策	宮田節子	松坂美代子
谷山由香	山下勇一	山本栄子	中野翔悟	永田喜久美	
	田村多津子	杉本豊加		増田千香	
	川上文代	竹山尚美			
	立木由美子	宮濱左文			
	中野由加里	出口多津香			
	立花ひろみ	尾上佐喜子			
	山下美樹	山下たまよ			
		川口かほ美			

※ 非常勤職員は各係の補佐につく

1、編成

① 隊長

総括指揮

② 副隊長

隊長補佐

③ 指揮係

隊長・副隊長の補佐、自衛消防本部の設置、消防隊(消防署・消防団)への情報提供及び誘導

④ 通報連絡係

消防機関への通報・施設内非常放送・職員への連絡

⑤ 消火係

初期消火活動・施設外消防隊(消防署・消防団)と連携及び補佐

⑥ 避難誘導係

出火場所を確認し避難開始指示の伝達・避難ルートの確保・残存者確認

⑦ 防護安全係

出火場所以外の防護と安全確保

⑧ 救出救護係

負傷者・非救護者の応急救護

⑨ 非常持出係

重要書類・重要物件の緊急搬出

2、避難場所

第一次避難場所 施設屋外芝生広場

第二次避難場所 浦桑生活館(施設より徒歩5分)

3、協力提携地元住民 新上五島消防団浦桑分団(施設より5m)

4、夜間緊急体制の確保

施設の立地条件として、海岸から県道の幅しか離れていない事、満潮時年間最高水位(8月～9月)からフロアレベルが+1.0mであること。加えて三方向しかない進入道路の青方方面は崖崩、有川・魚目方面は高波・強風により通行が困難な場合が予測され職員の召集が困難になる可能性がある。そのため台風及び豪雨が予測される場合、隊長の判断により複数名の当直者を確保し、風水害に備える。